

JP112 鶺鴒の山 (うのやま)

愛知県：美浜町

位置 N 34° 48′ E 136° 53′

面積 331ha

環境構成【森林／湖沼／溜池／樹林（アカマツなど）】

鶺鴒の山は、愛知県知多半島にあり、国内最大級のカワウの繁殖地である。カワウが住みついたのは、1829年（天保初年）頃と言われカワウの糞が農作物の肥料として利用できることによって保護されてきた歴史がある。

鶺鴒の池周辺 1.17ha が、1934年にカワウの集団繁殖地として国の天然記念物に地域指定された。



写真提供：大畑孝二

選定理由

A4i

カワウ

保護指定

サイトの大部分（50～90％）に法的な担保がある。

<保護指定の内容>

国定公園（三河湾国定公園）、自然環境保全地域

<その他>

国指定天然記念物鶺鴒の山ウ繁殖地

保全への脅威

- ・カワウの繁殖地では、カワウの糞により樹木が枯れるため、保護区内や外の山へ移動することを繰り返している。保護区での松等の植林が必要である。
- ・池で魚釣りをした人が池の中や木の枝に引っかかって取れなくなった釣り糸をそのまま放置しているため、魚を取るために潜っているカワウや木の枝にとまろうとしているカワウにその糸が絡まり死んでしまう。

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化減っている
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有

<調査データの入手方法>

愛知県庁

- IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化がある
詳細、具体例等：カワウが毎日過ごしている木でフンをするため、木が枯れ倒れてしまい、止まり木や繁殖のために巣をかけるのに適した木が少なくなっている。
- IBA 選定基準種の生息環境：
普通（70～90%が最適の状態）
- IBA エリアの保全管理計画の有無：有

保全活動

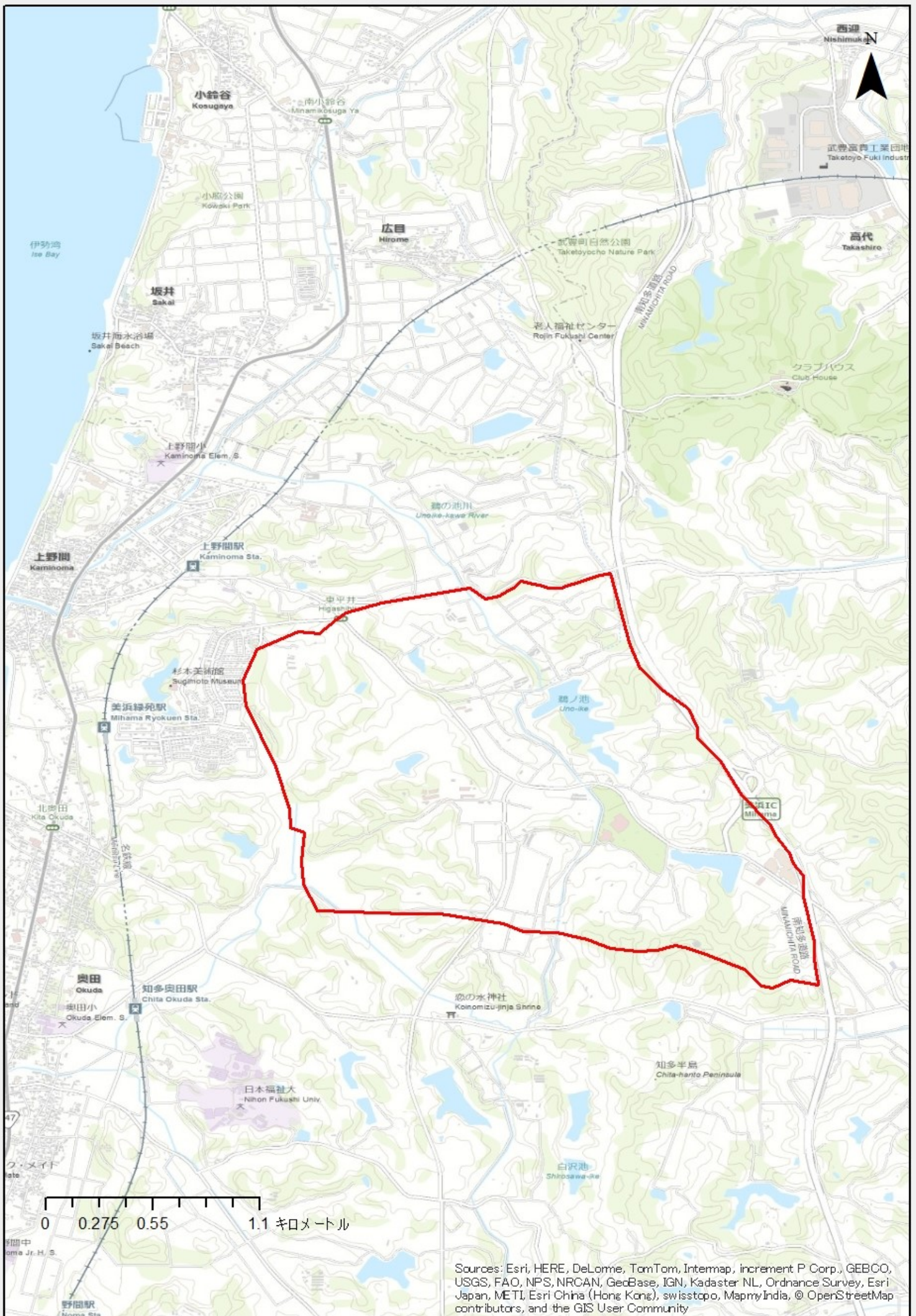
- 環境管理：実施者（美浜町上野間区、美浜町役場環境保全課）
内容：鵜の池の草刈り（美浜町上野間区）、鵜の池自然公園の管理、トイレ清掃、パトロール（美浜町役場環境保全課）
- 環境教育活動：実施者（美浜町役場環境保全課、日本野鳥の会愛知県支部）
内容：鵜の池自然公園内で「カワウの子育て観察」をテーマに知多自然観察会のメンバーが講師となり、バードウォッチングが行われる（年一回）。また、日本野鳥の会愛知県支部の方も鵜の池観察会（年一回）を行っている
- モニタリング調査：実施者（名城大学）
内容：コロニーおよび周辺海域でのカワウの調査

見られる鳥

春から夏	コサギ、チュウサギ、ゴイサギは、繁殖をしている。春の渡りの時期にオオルリ、キビタキ、センダイムシクイのさえずりが聞かれる。キジ、コジュケイが多い。
秋から冬	秋の渡りには、エゾビタキ、サメビタキ、コサメビタキなど、カルガモ、ヒドリガモ、ホシハジロが多く、ヨシガモ、オカヨシガモ、ミコアイサ、ツグミ、シロハラ、カシラダカ、アオジなど

関連団体・自治体・施設等

- 日本野鳥の会愛知県支部



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community